



2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月13日

上場会社名 株式会社ウエストホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 1407 URL http://www.west-gr.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江頭 栄一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 椎葉 栄次 (TEL) 03-5358-5757
 四半期報告書提出予定日 2020年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績 (2019年9月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	40,146	△8.0	3,978	30.0	3,530	29.1	2,324	30.2
2019年8月期第3四半期	43,614	30.4	3,061	86.4	2,735	110.1	1,785	133.4

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 2,319百万円 (34.2%) 2019年8月期第3四半期 1,728百万円 (124.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	73.44	—
2019年8月期第3四半期	54.30	—

(注) 1. 当社は、2020年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の割合をもって株式分割を行っております。
 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	77,996	18,229	23.4
2019年8月期	82,162	17,584	21.4

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 18,213百万円 2019年8月期 17,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、2020年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の割合をもって株式分割を行っております。2019年8月期については、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載し、2020年8月期(予想)については、当該株式分割後の配当金の金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2020年8月期(予想)の年間配当金合計は58円50銭となり、実質13円50銭の増配となります。

3. 2020年8月期の連結業績予想 (2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,845	14.0	6,740	14.9	6,140	13.2	3,955	8.9	124.44

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、2020年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の割合をもって株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年8月期3Q	35,405,760株	2019年8月期	35,405,760株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年8月期3Q	4,108,213株	2019年8月期	3,617,211株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年8月期3Q	31,647,265株	2019年8月期3Q	32,880,253株
------------	-------------	------------	-------------

当社は、2020年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、運輸・観光・飲食・製造業を中心とした経済活動が大きく停滞する状況となりました。個人消費においても緊急事態宣言の発表に基づく外出自粛の影響などにより大幅に落ち込むこととなりました。

一方で世界のエネルギー市場においては、2015年の「パリ協定」採択を契機とした環境意識の高まりがより一層加速しております。機関投資家は欧米のみならず我が国においても「ESG投資」に多額の資金を振り向け始め、企業側にとっては「SDGs」への取り組みの重要性がますます高まっております。その中でも自社消費電力の再生可能エネルギー調達へのシフトはRE100参加企業等の一部の大企業のみならず、サプライチェーンに関連する多くの企業にとっても重要課題と位置付けられていく見通しです。

当社グループにおきましては、営業面において、都県を跨いだ移動制限に伴うお客様先へのご訪問自粛などにより一部制限は生じたものの、太陽光発電設備を中心とした施工面においては本年度分の工事に必要な建築資材、材料を中国の春節前にあらかじめ確保できていたことが奏功し、最も危惧された工期の遅延等も発生することなく、大きな影響はありませんでした。

社内におきましては東京地区の従業員を対象とした在宅勤務の実施や全従業員へのマスク、消毒用スプレアの配布などによる安全対策を行い、従業員をはじめそのご家族、お取引先すべてにご迷惑をかけることのないよう感染防止対策を徹底して行いました。

新型コロナウイルス感染症に関しましては未だ根本的な治療・予防方法が確立されておきませんが、来る第2次感染拡大期に備えつつ、引き続き従業員の安全確保と施工の着実な実施を行えるよう注意して取り組んでまいります。

このような状況の中、当社グループは地域の金融機関とのアライアンスを強化し、地元企業や地方自治体向けに従来から行っている太陽光発電システムの材料調達・施工・販売・O&M（オペレーションアンドメンテナンス）の創エネ事業を推進する中で、LED照明や空調設備による省エネ事業、電力小売事業などトータルエネルギーソリューションの展開を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は40,146百万円（前年同四半期比8.0%減）、営業利益は3,978百万円（前年同四半期比30.0%増）、経常利益3,530百万円（前年同四半期比29.1%増）及び親会社株主に帰属する四半期純利益2,324百万円（前年同四半期比30.2%増）を計上いたしました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、セグメント別の金額については、売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額であります。

① 再生可能エネルギー事業

メガソーラー事業におきましては、幸いにも新型コロナウイルス感染症の影響もなく計画に沿った施工・販売が順調に推移いたしました。第4四半期も順調に施工・販売を推進してまいります。また第3四半期からセカンダリー事業を開始し、販売用メガソーラーの仕入れを行いました。これらにつきましては第4四半期での販売を計画しております。産業用太陽光発電事業におきましては、環境意識の大幅な高まりを背景に自家消費型の受注増加が見受けられました。総発電コストの削減に関しては、住宅用からメガソーラーに至るまで、世界全域から品質を維持した商材の調達と数多くの設置実績の経験値を活かした総発電コストの低減を図ってまいりました。また、将来への備えとしてFIT制度への依存を脱すべく、総発電コストのより一層の削減を図りつつ、自家消費型モデル、ソーラーシェアリング型モデルの一層の普及を推進しております。

以上の結果、売上高は14,961百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益1,548百万円（前年同四半期比37.4%増）となりました。

② 省エネルギー事業

提携金融機関とのアライアンスによる情報を活用し、商業施設や工場・病院などのエネルギーを大量に消費する施設に対し省エネのトータルサービスを提供、特にお客様に初期費用の負担が生じないウエストエスコ事業の受注拡大に努めてまいりました。

このウエストエスコ事業については、施工実績が増加することにより、LED照明は5年から7年、空調設備は10年から12年にわたり、将来の安定収入に繋がる事業であり、着実な施工実績の積み上げにより売上高及び営業利益は増加しております。

以上の結果、売上高は1,418百万円（前年同四半期比17.4%増）、営業利益390百万円（前年同四半期比56.7%増）となりました。

③ 電力事業

電力小売事業は、トータルエネルギーソリューション展開の一環として、太陽光発電システムや省エネ機器更新との複合提案活動を行っております。電源調達につきましては、電力会社や大手商社からの相対取引契約を締結し、第3四半期において仕入先の見直しを行い、収益率の改善を図りました。新規受注活動においては、旧一般電気事業者や競合先との競争が激化している状況下においても新規提携金融機関の増加を背景に、販売先数は前年同四半期末8,930件より当四半期末16,113件と、順調に拡大しております。一方で電力販売量は上半期の天候不順の影響に加え新型コロナウイルス感染症に伴う生産設備の稼働減少等の影響により前年対比で減少いたしました。自社売電事業については、約65MWの発電所を保有しており、将来の安定収入として売上高及び利益の確保が見込まれます。

以上の結果、売上高は22,918百万円（前年同四半期比16.3%減）、営業利益1,228百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

④ メンテナンス事業

当社グループにて企画・設計・施工を行ったメガソーラー発電所を中心に、安定した売電収入を得られることを目的として施設の継続的なメンテナンスを行い、太陽光発電所のオーナー様へ安全・安心・感動を提供し、受注実績を積み上げてまいりました。契約総件数は1,177件（2020年5月末）と着実に増加しております。

以上の結果、売上高は994百万円（前年同四半期比13.3%増）、営業利益335百万円（前年同四半期比36.8%増）となりました。

⑤ その他

その他の売上高は0百万円（前年同四半期比91.5%減）、営業利益0百万円（前年同四半期比91.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、4,165百万円減少し、77,996百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末比4,810百万円減少し59,767百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末比644百万円増加し18,229百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

資産の減少の主な要因は、完成工事未収入金が4,231百万円減少したことによるものであります。

負債の減少の主な要因は、借入金が1,279百万円、材料買掛金が1,561百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産の増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,324百万円を計上した一方、配当金の支払1,100百万円及び自己株式の増加574百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の連結業績予想につきましては、2019年10月11日付「2019年8月期 決算短信」において公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,883	25,306
受取手形及び売掛金	8,296	5,925
リース債権	3,073	3,707
完成工事未収入金	5,280	1,049
商品	1,933	10,068
販売用不動産	2,657	2,793
未成工事支出金	9,422	11,110
原材料及び貯蔵品	5	17
その他	1,663	2,425
貸倒引当金	△135	△178
流動資産合計	66,083	62,224
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	9,853	9,501
その他(純額)	3,673	3,713
有形固定資産合計	13,526	13,215
無形固定資産		
	156	130
投資その他の資産		
投資有価証券	457	459
長期貸付金	134	133
繰延税金資産	573	575
その他	1,298	1,341
貸倒引当金	△66	△83
投資その他の資産合計	2,396	2,426
固定資産合計	16,079	15,772
資産合計	82,162	77,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,021	3,460
工事未払金	1,514	1,038
1年内償還予定の社債	400	240
短期借入金	14,802	14,560
未払法人税等	1,128	—
完成工事補償引当金	652	415
その他	4,962	4,938
流動負債合計	28,483	24,652
固定負債		
社債	150	260
長期借入金	34,853	33,815
資産除去債務	619	625
繰延税金負債	45	45
その他	427	368
固定負債合計	36,095	35,114
負債合計	64,578	59,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,020	2,020
資本剰余金	728	728
利益剰余金	17,420	18,644
自己株式	△2,542	△3,117
株主資本合計	17,627	18,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△72	△80
繰延ヘッジ損益	15	18
為替換算調整勘定	△1	△0
その他の包括利益累計額合計	△58	△62
非支配株主持分	15	15
純資産合計	17,584	18,229
負債純資産合計	82,162	77,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
売上高	43,614	40,146
売上原価	35,984	31,666
売上総利益	7,630	8,480
販売費及び一般管理費	4,568	4,501
営業利益	3,061	3,978
営業外収益		
受取利息	5	8
受取配当金	4	6
その他	11	16
営業外収益合計	21	31
営業外費用		
支払利息	321	351
支払手数料	20	122
その他	5	5
営業外費用合計	347	479
経常利益	2,735	3,530
特別損失		
固定資産除却損	4	—
特別損失合計	4	—
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	2,730	3,530
匿名組合損益分配額	26	57
税金等調整前四半期純利益	2,704	3,472
法人税等	918	1,148
四半期純利益	1,785	2,324
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,785	2,324

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	1,785	2,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	△8
繰延ヘッジ損益	3	2
為替換算調整勘定	△3	0
その他の包括利益合計	△56	△4
四半期包括利益	1,728	2,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,728	2,319
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月20日 定時株主総会	普通株式	885	35.00	2018年8月31日	2018年11月21日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月28日 定時株主総会	普通株式	1,100	45.00	2019年8月31日	2019年11月29日	利益剰余金

(注) 2020年3月1日付で普通株式1株につき1.3株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2020年1月31日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、普通株式486,300株を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が567百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	再生可能 エネルギー 事業	省エネル ギー事業	電力事業	メンテナ ンス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,310	1,208	27,383	710	43,613	1	43,614	—	43,614
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	—	2	167	179	—	179	△179	—
計	14,320	1,208	27,385	877	43,792	1	43,793	△179	43,614
セグメント利益	1,127	249	1,179	245	2,800	1	2,802	258	3,061

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額258百万円には、固定資産の未実現利益消去93百万円、本社費用の配賦差額165百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	再生可能 エネルギー 事業	省エネル ギー事業	電力事業	メンテナ ンス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,957	1,418	22,917	852	40,146	0	40,146	—	40,146
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	0	141	147	—	147	△147	—
計	14,961	1,418	22,918	994	40,293	0	40,293	△147	40,146
セグメント利益	1,548	390	1,228	335	3,503	0	3,503	475	3,978

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額475百万円には、固定資産の未実現利益消去93百万円、本社費用の配賦差額381百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 4. 所有目的の変更により、販売用不動産の一部を有形固定資産に振替いたしました。この変更に伴うセグメント利益に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。